

2021（令和3）年度

# 事業報告書

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

公益財団法人日本室内楽振興財団

## はじめに

本年度は、令和5年5月に開催される「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ2023」の審査員の選任や日程を含む開催及び募集に関する要綱を策定し、参加者募集に向けて国内外の音楽関係者への働きかけの準備を行うとともに、ソーシャルメディア、ホームページ等オンラインを活用した広報計画を立案しました。

コンクール優勝団体による国内巡回公演「グランプリ・コンサート」は、第10回大会の中止に伴い該当する優勝団体がでなかったため、過去の優勝団体メンバーの協力を得て、代替公演を全国6地区で開催しました。

また、室内楽の演奏活動及び教育普及活動に対する助成事業や調査・研究事業及び広報誌の発行を行いました。

## 公益事業 1

### I. 事業の状況

#### (1) 国際的な室内楽コンクールの開催に関する事業(14, 565千円)

2021(令和3)年度は、以下のような事業を実施しました。

##### 1. 「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ2023」組織及び開催要旨の決定

大会の組織と要旨の策定にあたっては、コロナウイルス禍により中止となった2020年の「第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」を踏襲した内容を目指し、開催準備委員会と事務局に於いて検討を行いました。

- a. 開催委員会 会長：松本正義（日本室内楽振興財団会長）  
副会長：大橋善光（日本室内楽振興財団理事長）  
コンクール審査委員長：堤 剛（チェロ、サントリー芸術財団代表理事）  
フェスタ審査委員長：呉 信一（トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授）  
運営本部長：牧野立太（日本室内楽振興財団常務理事）
- b. 期間 2023年5月12日(金)～ 5月18日(木)
- c. 会場 住友生命いずみホール、  
富山県高岡文化ホール・三重県文化会館(フェスタ1次ラウンド)
- d. 主催 公益財団法人 日本室内楽振興財団
- e. 後援 外務省、文化庁、大阪府、大阪市、日本演奏連盟、住友生命いずみホール  
関西経済連合会、大阪ビジネスパーク協議会、読売新聞社
- f. 提携協力 クアチュオール・ア・ボルドー、アムステルダム弦楽四重奏ビエンナーレ、  
Verband der Streichquartette Kammermusik-VdsQ e.V.& Forderverein Festival e.V.
- g. 特別協力 一般社団法人 MK 記念会
- h. コンクール部門の実施内容
  - (1) 演奏部門／ 第1部門:弦楽四重奏  
第2部門:ピアノ三重奏及びピアノ四重奏
  - (2) 応募資格／ 1984年5月1日以降に出生した演奏家で編成される団体
  - (3) 課題曲／ 第1部門・第2部門とも古典的から近現代の楽曲まで幅広く課題曲に加え、日本人作曲家の作品も含まれています。第1部門では、ベートーヴェンによる、全ての弦楽四重奏曲(16曲)が課題曲に含まれています。
  - (4) 審査委員／ (★は過去の優勝団体のメンバー)  
堤 剛 (審査委員長) <日本/チェロ、サントリー芸術財団代表理事>  
マーティン・ビーヴァー <カナダ/ヴァイオリン、元東京クワルテット>  
ウェイガン・リ <アメリカ/ヴァイオリン、上海クワルテット>  
澤 和樹 <日本/ヴァイオリン、澤クワルテット、前東京芸術大学学長>

モニカ・ヘンシェル★ <ドイツ/ヴィオラ、ヘンシェル・クアルテット>  
 元渕 舞 <アメリカ-日本/ヴィオラ、ボロメーオ弦楽四重奏団>  
 アラスデア・テイト★ <イギリス/チェロ、元ベルチャ・クアルテット>  
 ヴァンサン・コック <フランス/ピアノ、トリオ・ヴァンダラー>  
 エッカルト・ハイリガーズ★ <ドイツ/ピアノ、トリオ・ジャン・ポール>  
 練木 繁夫 <日本/ピアニスト、桐朋学園大学名誉教授>

※弦楽器の審査委員は両部門、ピアノの審査委員は第2部門のみ審査

(5) 審査ラウンド/予選(1次~3次)及び本選 ※3次予選は第1部門のみ実施

(6) 賞金(第1部門、第2部門)

第1位/ 250万円、第2位/120万円、第3位/80万円

特別賞/MK記念会特別賞(両部門1位団体に50万円授与)

ボルドー弦楽四重奏フェスティバル賞

ストリング・クアルテット・ビエンナーレ・アムステルダム賞

大阪国際室内楽コンクール2023アンバサダー賞

※上記3賞は提携した海外のフェスティバルやコンサートへの参加。

i. フェスタ部門の実施内容

(1) 演奏部門/2人から6人までの器楽奏者で編成されるアンサンブルで、楽器の組合せは自由

(2) 応募資格/年齢、国籍を問わず

(3) 演奏曲/自由(課題曲なし) 但し、演奏時間は25分以内

(4) 審査ラウンド/ 1次ラウンド:高岡文化ホール・三重県文化会館で実施  
 セミファイナル及びファイナル:住友生命いずみホールで実施

(5) フェスタ審査員/

呉 信一(審査員長) <日本/トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授>

河野 正孝(副審査員長) <日本/オーボエ、関西室内楽協会代表>

一般審査員:上記2名に加え、事前公募の一般聴衆がトーナメント方式で審査を行う

(6) 賞金/メニューイン金賞/150万円、銀賞/80万円、銅賞/50万円

特別賞:フォークロア特別賞/20万円、オンライン聴衆賞/10万円

j. その他

(1) 旅費・宿泊費の支援

交通費/コンクール参加者は往復エコノミーチケット(チェロ席含む)を提供

フェスタ参加者は15万円(アジアから参加の場合は、その半額)を補助

国内参加者は1人2万円を補助

宿泊代/主催者が負担

(2) 参加団体数/第1部門・第2部門ともに10団体、フェスタは12団体を予定

(3) 募集期間/コンクール、フェスタとも2022年5月9日-10月10日までの期間

#### (4) 披露演奏会

コンクール及びフェスタの優勝団体は、本選終了後の5月19日に大阪(住生命友いずみホール)での披露演奏会に出演する。また、コンクールの優勝団体は、5月21日に東京(サントリーホール・ブルーローズ)で開催の披露演奏会に出演する。

### 【2023大会のスケジュール】

日 程	第1部門	第2部門	フェスタ	その他
5月 10日(水)	参加団体説明会	参加団体説明会		
11日(木)	参加団体 サウンドチェック	参加団体 サウンドチェック	参加団体説明会	審査委員会議
12日(金)	1次予選			
13日(土)		1次予選	1次ラウンド (高岡)	
14日(日)	2次予選		1次ラウンド (三重)	
15日(月)		2次予選	大阪に移動	
16日(火)	3次予選			
17日(水)			セミファイナル ・ファイナル(大阪)	
18日(木)	本選	本選		表彰式 記念パーティー
19日(金)	入賞団体披露演奏会(大阪)			
20日(土)				
21日(日)	優勝団体披露演奏会(東京)			

## 2. プレイベントの計画策定

2023年大会のプレイベントとして、歴代のコンクールで優勝・入賞団体を果たした団体による、リサイタルシリーズ3公演の実施を計画しました。

公演名: ザ・フェニックスホールに集うトップアンサンブルシリーズ2022-2023

会 場: あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール(大阪市北区)

- ① 2022年 9月 12日(月) アタッカ・クアルテット (アメリカ 第7回第1部門1位)
- ② 2022年 12月 11日(日) アンサンブル・ミクスト (日本 第7回第2部門3位)
- ③ 2023年 2月 26日(日) ドーリック・クアルテット (イギリス 第6回第1部門1位)

## 3. 募集要項の作成と参加受付のオンライン化

開催要旨及び課題曲の決定に伴って、募集要項を和文・英文で作成し、国内外の関係者への配布準備を行いました。また、これまでの郵送による参加申し込みの受付を、ホームページからのオンラインでの受付とするよう改善しました。

#### 4. 2023年大会開催に向けて広報の準備と広報計画の立案

参加団体募集のチラシを作成すると共に、海外を中心にソーシャルネットワークやWEB広告を活用する広報計画を立案しました。

#### 5. 「第10回コンクール&フェスタ」関連コンサートの実施

第10回大会は中止となりましたが、関連イベントとして計画していた1公演を実施しました。

公演名：「クアルテット・エクセルシオ with 後藤彩子」

(クアルテット・エクセルシオは第2回大会で2位受賞、  
後藤彩子氏は第7回大会2位シューマン・クアルテットの  
元ヴィオラ奏者)

日 時：2022年2月12日(土) 14時

会 場：ザ・フェニックスホール(大阪市北区)

本公演では第10回コンクールの為に作曲家の望月京氏に  
委嘱し、演奏が延期されていた「Boids again」が世界初演  
されました。



クアルテット・エクセルシオと望月京氏

※海外提携協力「ボルドー国際弦楽四重奏コンクール」の優勝団体「マルメン弦楽四重奏団」による  
公演(6月18日予定)は、コロナ禍により中止となりました。

### (2) 室内楽の演奏会の開催 (8,291千円)

2021(令和3)年度は以下の事業を実施しました。

#### 1. 「グランプリ・コンサート2021」代替公演の開催

「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」の優勝団体による全国巡回コンサート「グランプリ・コンサート」は、  
第10回大会の中止に伴い、優勝団体が選出されず、成立しませんでした。このため、2020年度に引き続  
き、過去の大阪国際室内楽コンクール第1部門で優勝したクアルテットの元メンバーの協力により、全国6カ  
所で代替公演を行いました。

公演名：大阪国際室内楽コンクール優勝メンバーによるコンサート「続・音楽で楽しむ世界旅行」

出 演：徳永慶子(ヴァイオリン/元第7回コンクール1位アタッカ・クアルテット)

柴村崇(チェロ)、小田裕之(ピアノ)

助 成：公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

#### 2021年 公演日程

日程	公演名	会場
11月 1日(月)	静岡	沼津市民文化センター
11月 5日(金)	宮崎	小林市文化会館
11月 7日(日)	熊本	益城町文化会館
11月 8日(月)	大阪	住友生命いずみホール
11月10日(水)	高岡	富山県高岡文化ホール
11月12日(金)	鳥取	鳥取市民会館



大阪公演

## 公益事業 2

### (3) 室内楽に関する各種活動への助成 (5,724千円)

2021(令和3)年度は選考委員会で決定した以下の事業に助成金を交付しました。

#### 2021年(令和3年)度 助成金交付事業

(単位:円)

	事業名	申請者	開催地	開催月	金額
1	定期公演B～室内楽シリーズ Vol. 6～10	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 理事長 田中美幸	京都文化博物館 京都府民ホールアルティ	2021.5 他	500,000
2	SQS Rising Star Quartets 2021	横浜学友会 平井 満	サルビアホール	2021.6 他	500,000
3	東京現音計画#14 ～コンポーザーズセレクション6: 森紀明	東京現音計画 有馬 純寿	杉並公会堂 小ホール	2021.7	300,000
4	訪問プログラム 2021	特定非営利活動法人 ミュージック・シェアリング 理事長 五嶋 みどり	日本全国 10 都道府県の 学校や病院など 18 施設	2021.8 ～ 2021.12	100,000
5	モーツァルト・シリーズ 神尾真由子と仲間たち	一般財団法人住友生命福祉文化財団 理事長 野呂 幸雄	住友生命いずみホール	2021.8	200,000
6	月見の里室内楽アカデミー2021	袋井市月見の里学遊館 館長 根津 幸久	静岡県袋井市 月見の里学遊館うさぎホール	2021.8	500,000
7	武生国際音楽祭 2021	武生国際音楽祭推進会議 笠原 章	越前市文化センターほか	2021.9	500,000
8	spac-e コンサートシリーズ 2021	spac-e 佐原 洸	球道会館 他	2021.10 2022.11	200,000
9	クローズアップおかげさき 「アンサンブル天下統一 2021」	SPS・ト・エネック・ピ・アント・ピ・共同事業体 サントリーパブリシティサービス(株) 代表取締役社長 間野 文祥	岡崎市シビックセンター コンサートホール「コロネット」	2021.10	100,000
10	ラヴェルが幻想したワルツ あの時パンデミックをどう捉えたか	公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団 理事長 堀場 厚	京都コンサートホール アンサンブルムラタ	2021.10	500,000
11	TRIO VENTUS リサイタル・ツアー	TRIO VENTUS 鈴木 皓矢	東京文化会館小ホール ムジカホール(宮城) ザ・フェニックスホール(大阪)	2021.10 2021.11	300,000
12	サン＝サーンス没後 100 周年記念 【イザイとサン＝サーンス】	日本イザイ協会 永田 郁代	第一生命ホール	2022.1	200,000
13	フェルッチョ・ブゾーニの世界 ～弦楽室内楽編～	畑野 小百合	古賀政男音楽博物館 「けやきホール」	2022.3	200,000
14	フォーレ室内楽全曲演奏会 ～鼓動と憧憬～ 最終回「滾～たざり～」	室内楽集団 レーベインムジーク 桑野郁子	電気文化会館	2022.3	100,000
			合 計		4,200,000

## 公益事業 3

### (4) 室内楽に関する広報誌等の発行に関する事業 (4, 118千円)

2021(令和3)年度は、以下の通り広報誌「奏」の内容を一新し、刊下記の通り発刊いたしました。

○「奏」55号 7月10日発行 2,000部

○「奏」56号 1月31日発行 2,200部

※各号とも音楽関係団体、学校、会館、財団関連企業、および無料DM会員等に配布しました。

### (5) 室内楽に関する調査研究事業 (2, 122千円)

本年度は以下の事業を実施いたしました。

#### 1. 「室内楽との触れ合いの場」創出に関する研究事業

室内楽の聴衆を育てる試みとして、子どもを対象とした「室内楽との触れ合いの場」創出ためのモデル事業を、住友生命いずみホールとの共催事業として実施しました。

事業名: 「こどもクラシックミュージックアトリエ」(無料招待)

開催日: 2022年2月25日(金)午前11時

会場: 住友生命いずみホール

参加: 未就学児の親子/23家族67名(こども34名、  
大人33名) 応募203名

演奏: 弦楽四重奏/上敷領藍子(Vn)、相原瞳(Vn)、  
後藤彩子(Va)、佐藤響(Vc)

内容: 45分間のプログラムで室内楽を親子で体感する

- ・弦楽四重奏の演奏
- ・リズム遊びや絵本と音の連動
- ・舞台上での鑑賞など音楽を身近に感じる工夫



こどもクラシックミュージックアトリエ

#### 2. 「コロナ禍におけるコンクールの実施状況」に関する調査事業

2021年度は、「第10大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」の経緯をまとめるとともに、国際コンクール世界連盟に加盟する国内のコンクールへのヒアリングを行い、対応状況を調査しました。

尚、国内を中心とした「アジアの民族音楽演奏活動の現状調査」については、1月に沖縄音楽の現地調査を計画していましたが、コロナ禍により次年度に延期となりました。

#### 【調査研究委員】

委員長	藤野 一夫	芸術文化観光専門職大学 副学長
委員	伊東 信宏	大阪大学・大学院教授
	後藤 彩子	ヴァイオラ奏者、元シューマン・クアルテット



